

死亡編

I 負傷による死亡の状況

1 負傷による死亡の発生件数

「負傷による死亡事故」の発生件数の内訳は、表-1に示すとおりである。

表-1 負傷による死亡の発生件数

(平成16年度)

| 区分 | | 学校種別 | | | | | | | 計 | |
|------------------------|-----------------|---|-------------|---------------|------------|-----|-----|----|-----------------------|---|
| | | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 高等専門 学校 | 幼稚園 | 保育所 | | | |
| 〔I〕 教育活動中の事故 | (1) 体育的活動中 | (i) 各教科(体育・保健体育) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | (ii) 特別活動 体育的行事(運動会・体育祭) 体育的クラブ活動 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | (iii) 課外活動 アメリカンフットボール | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | (2) 体育的活動中以外 | (i) 各教科 理科 英語 その他 | 2 1 1 | 1 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 1 1 | |
| | | (ii) 特別活動 学級活動(清掃・ホームルーム) 学級活動(給食指導中) 文化的クラブ活動 集团的宿泊行事 その他 | 1 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 0 0 0 0 | |
| | | (iii) 課外指導 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | |
| | | 〔II〕 以外の事故中 | 休憩時間中 | (i) 始業前の特定時間中 | 1 | 1 | | | | 2 |
| | | | | (ii) 休憩時間中 | | | | | | 0 |
| (iii) 昼食時休憩時間中 | | | | | 1 | | | 1 | | |
| (iv) 授業終了後の特定時間中 | | | | 1 | | | | 1 | | |
| (v) その他 | | | | | | | | 0 | | |
| 計 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | | | |
| 〔III〕 通学(園) 中の事故 | (1) 登校中 | (i) 徒歩 | | 1 | 1 | | | 2 | | |
| | | (ii) 自転車 | | | | | | 0 | | |
| | | (iii) 自動二輪車・原動機付自転車 | | | 1 | 1 | | 2 | | |
| | (2) 下校中 | (iv) 自動車 | | | | | | 0 | | |
| | | (v) 鉄道 | | | 1 | | | 1 | | |
| | | (vi) その他 | | | | | | 0 | | |
| | | 計 | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 5 | |
| | | (i) 徒歩 | 2 | 1 | 1 | | | | 4 | |
| (ii) 自転車 | | | 2 | | | | 2 | | | |
| (iii) 自動二輪車・原動機付自転車 | | | | | | | 0 | | | |
| (iv) 自動車 | | | | | | | 0 | | | |
| (v) 鉄道 | | | 2 | | | | 2 | | | |
| (vi) その他 | | | | | | | 0 | | | |
| 計 | 2 | 1 | 5 | 0 | 0 | 0 | 8 | | | |
| 〔IV〕保育中の事故 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 〔V〕寄宿舎での事故 | | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| 合 計 | | 6 | 5 | 11 | 1 | 0 | 0 | 23 | | |

2 負傷による死亡の事例

〔I〕教育活動中の事故

(1) 体育的活動中

(iii) 課外指導

| | | |
|-----|-------|------|
| 事例1 | 高1年・男 | 頭部外傷 |
|-----|-------|------|

アメリカンフットボール部の合宿中、本生徒はウォーミングアップ後、オクラホマ（1対1で相撲のように組んで頭から全身で当たり合いをするもの）の練習中に頭痛を訴えた。

(2) 体育的活動中以外

(i) 各教科

| | | |
|-----|-------|------|
| 事例2 | 小2年・男 | 頭部外傷 |
|-----|-------|------|

5時限目の国語の授業で、3階にある図書室へ行く。授業担当者が、本の貸借の手続きをパソコンでしている間、児童たちはパソコンのあるカウンターの前に並んでいた。その時、本児童は「図書カードを配らせてほしい」と授業担当者に頼み、窓際にある本棚に座って図書カードを配っていた。配り終わると、本棚の上に立って、窓の枠にまたがった。その際バランスを崩して転落した。

| | | |
|-----|-------|------|
| 事例3 | 小3年・男 | 頭部外傷 |
|-----|-------|------|

2校時の授業開始直後（「これから授業を始めます」の号令前）、教諭は本児童がテレビ台の後に隠れているのを発見し、席に戻るよう注意した。その後、教諭は授業を始めるために学習のめあてを板書しようと黒板に向かった。その際、注意された本児童は教室内を走って2周した。その直後、テレビ台とテレビがともに転倒してきて、本児童はその下敷きになり、顔面と頭部を打ち意識不明の状態ですべて病院へ搬送された。

| | | |
|-----|-------|------|
| 事例4 | 中1年・男 | 頸椎損傷 |
|-----|-------|------|

5時間目の英語の授業中、英語暗唱のチェックを受けるため生徒数名が教卓の前に並んでいた。本生徒は、すでに並んでいた他の生徒の前に割り込んで入った。割り込まれた他の生徒は、「割り込むな」と言って右手で本生徒の腹部を左後ろへ押した。本生徒は、ゆっくり後ろへ下がった際、机の脚の部分に自分の足がひっかかりよろけて倒れ、教室の壁に頭部をぶつけた。

(ii) 特別活動（給食指導中）

| | | |
|-----|-------|----|
| 事例5 | 小6年・女 | 刺傷 |
|-----|-------|----|

給食を配膳後、担任は本児童と他の児童1名が着席していないのに気づいた。その時、他の

児童は廊下にいたが、挙動不審であったため、担任は本児童を探した。学習ルームにてうつ伏せになって倒れている本児童を発見したため、すぐに他の教師に救急車を要請するよう指示した。到着した救急隊員により、頸動脈切断と左手甲の傷による失血死と判断された。

〔Ⅱ〕教育活動中以外の事故

休憩時間

(i) 始業前の特定時間中

| | | |
|-----|-------|------|
| 事例6 | 小6年・男 | 頭部外傷 |
|-----|-------|------|

本児童は大雨の中登校して、靴下が濡れたので4階教室の窓側に張ってあった針金に干していた。設置してある転落防止用の手すりの上に上がって、その靴下を取ろうとしたところ、誤って足を滑らせ開いていた窓から落下し、1階の屋根にバウンドして地上に転落した。

| | | |
|-----|-------|-----|
| 事例7 | 中3年・男 | 焼 死 |
|-----|-------|-----|

始業前の特定時間中、登校した他の生徒が教室に向かって階段を上った際、2階廊下の清掃ロッカーと壁の間で炎に包まれている本生徒を発見し、急いで職員室に連絡した。職員2名が現場に直行したときには、本生徒は、足から頭部まで火の中にあり、壁には衣服が付着し燃えていた。

(iii) 昼食時休憩時間中

| | | |
|-----|-------|------|
| 事例8 | 高1年・男 | 頭部外傷 |
|-----|-------|------|

本生徒は体育の柔道の授業前の昼食時休憩時間中、柔道場で空手のまねをして遊んでいた時に、他の生徒の足蹴りが右頸・顎部に当たり、意識不明となる。

(iv) 授業終了後の特定時間中

| | | |
|-----|-------|------|
| 事例9 | 中2年・男 | 頭部外傷 |
|-----|-------|------|

放課後、3階視聴覚室で生活指導を受けているとき、本生徒は「トイレに行きたい。」といって部屋を出たが、そのまま戻らないため、探していた。4階手洗い場の窓が開いているのに気づき、下をのぞいてみると、本生徒がうつぶせに倒れていた。直ちに救急車を要請するとともに名前を呼びながら心臓マッサージを行った。救急車により医療機関に搬送されたが、発生から1時間後に死亡が確認された。

〔Ⅲ〕 通学（園）中の事故

(1) 登校中（登園中）

(i) 徒歩

| | | |
|-------|-------|------|
| 事例 10 | 中1年・男 | 頭部外傷 |
|-------|-------|------|

当日の朝、本生徒は変わった様子はなく通常どおり朝8時に母親に見送られ一人で家を出る。その後、本生徒の通常経路途中にあるマンションの非常階段の下に倒れているのを、マンションの管理人が発見した。警察が家族や発見者に事情聴取した結果、8時35分ごろにマンションの6階の階段からの転落事故という報告を警察より受ける。

| | | |
|-------|-------|------|
| 事例 11 | 高2年・女 | 頭部外傷 |
|-------|-------|------|

女子バレーボール部で練習試合に行くに当たり、集合場所を駅改札口前としていた。本生徒は普通電車が通ったのを見て、慌てて下りている遮断機をくぐり、反対側から通過する快速電車に踏切内ではねられた。

(iii) 自動二輪車・原動機付自転車

| | | |
|-------|-------|------|
| 事例 12 | 高2年・男 | 全身打撲 |
|-------|-------|------|

原動機付自転車で登校途中、対向してきた大型クレーン車とすれ違うために前を走っていた他の生徒のバイクが減速したところ、本生徒も減速しながら他の生徒のバイクの右側に出ようとした際にバランスを崩し転倒した。その後、バイクから投げ出され、対向してきた大型クレーン車の前輪の後部に衝突した。病院搬送されるも、3時間後に死亡した。

| | | |
|-------|--------|------|
| 事例 13 | 高専1年・男 | 頭部外傷 |
|-------|--------|------|

市道において、登校途上の本学生の運転する単車が、左折しようとして停車していたワゴン車に追突した。（停車していたワゴン車になぜ追突したかの原因は把握できず不明である。）本学生は追突のはずみで単車から投げ出されて、意識不明となった。

(v) 鉄道

| | | |
|-------|--------|------|
| 事例 14 | 養高3年・男 | 全身打撲 |
|-------|--------|------|

登校中、本生徒は通学経路の駅ホームで、進入してくる貨物列車を見ようとして体を乗り出したところ、てんかん発作を起こし、ふらついて線路内に転落し、列車にひきずられた。

(2) 下校中 (降園中)

(i) 徒歩

| | | |
|-------|-------|------|
| 事例 15 | 小1年・男 | 内臓損傷 |
|-------|-------|------|

下校中、本児童は他の児童と2人で工場の敷地内に入り、積んであった木材に登り遊んでいた。降りようとした時、足を滑らせ転落し、その上に大きな丸太が転がり落ちてきて下敷きになってしまった。病院へ搬送されるも意識不明のまま11日後に死亡した。

| | | |
|-------|-------|-----|
| 事例 16 | 小1年・女 | 窒息死 |
|-------|-------|-----|

本児童は他の児童と下校し、公営住宅6階で同級生が降り、自宅のある10階に降りた直後、隣人男性により部屋に連れ込まれ、抵抗したところ殺害された。

| | | |
|-------|-------|------|
| 事例 17 | 中1年・女 | 全身打撲 |
|-------|-------|------|

本生徒は部活動を終え、他の生徒と下校途中に、その友達の家へ寄り、本を借りた後、踏切(遮断機・警報機なし)を横断中、電車にはねられ、全身を強く打つ。

| | | |
|-------|-------|------|
| 事例 18 | 高1年・男 | 頭部外傷 |
|-------|-------|------|

本生徒はいつも利用している鉄道の駅へ徒歩で向かった。事故を目撃した他の生徒たちによると、駅西側の踏切に来た本生徒は、警報機が鳴り、遮断機が下りていたにもかかわらず、遮断機を上げて踏切内に入った。本生徒は、発車間近の上り普通電車に乗るため、踏切を渡った先にある上りホームへ急いでいたと推測される。直後、下りの特急電車にはねられた。

(ii) 自転車

| | | |
|-------|-------|------|
| 事例 19 | 高1年・女 | 脊髄損傷 |
|-------|-------|------|

本生徒は部活動終了後、バスで下校、バス停で下車し、自転車で自宅に向かう。その途中、誤って、側溝に転落したとみられる。深夜になっても帰宅しないため、保護者が捜索願を提出し、学校にも連絡がある。翌朝、道路から1.5m下の側溝に転落しているのを発見される。

| | | |
|-------|-------|------|
| 事例 20 | 高2年・男 | 全身打撲 |
|-------|-------|------|

本生徒は自転車で下校中、左折ウインカーを出していた軽ワゴン車に追突した。その際、左頸動脈に裂傷を負った。

(v) 鉄道

| | | |
|-------|-------|------|
| 事例 21 | 高1年・女 | 全身打撲 |
|-------|-------|------|

本生徒は、中学2年時にうつ病で入院治療していた。高校入学後も時々うつ状態があり、通院、服薬していたが、休まず通学していた。当日は、身体計測でふだんと変わらなかったが、下校時に発作的にホームより線路に飛び込んで轢死した。

| | | |
|-------|-------|------|
| 事例 22 | 高3年・女 | 全身打撲 |
|-------|-------|------|

本生徒は摂食障害等の精神障害の症状で入退院を繰り返していた。当日も1校時の授業途中に退席を申し出、教室を出て行った。いつもなら保健室に行くが、当日は帰り支度をして下校した。地下鉄の駅まで行ってホームから転落し、死亡した。

〔IV〕 保育中

該当無し

〔V〕 寄宿舍

| | | |
|-------|--------|-----|
| 事例 23 | 高定2年・男 | 窒息死 |
|-------|--------|-----|

管理担当教諭から寄宿舍内にあるトレーニングルームの鍵を借り、ベンチプレスを行っていた。管理担当教諭は午後8時15分までと指示して午後7時50分ごろ部屋を出た。午後8時15分になっても生徒が鍵を返しにこないで、トレーニング室に行ったところ、ベンチプレスのベンチでバーに首をはさまれている本生徒を発見した。